

—総括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

- ・希望ヶ丘東地区は、希望ヶ丘駅北側一帯の南斜面丘陵地を中心とした地域であり、何本もの谷戸筋が複雑な地形を構成し、戸建て住宅と集合住宅が混在しています。現在は約8,000世帯が暮らし、人口はこの5年で少し増え、旭区の平均よりもファミリー層の占める割合が多く、「みんなで築く生き生き活力のある街」をスローガンに、子どもから高齢者までいつでもみんなが「助けあい」「支えあい」「見守り」「ふれあい」、いつまでも安全に安心して暮らせる地域を目指しています。
- ・二俣川ニュータウン地区は、区中西部に位置し、県運転免許試験場と保土ヶ谷バイパスの間の丘陵地帯を開発して生まれたニュータウンと、その周辺の地区で構成され、開発から50年を経ています。現在は約5,000世帯が暮らし、その9割を戸建て住宅が占めています。少子高齢化が進んでいますが、「住んでよかったと思える街」をスローガンに、地域のつながりを大切にして、若い世代も巻き込みながら、幅広く顔のみえる関係を築き、お互いを尊重し、気にかけながら、自分らしくいきいき暮らしていけるまち、「ふるさと」と呼べるまちを目指しています。
- ・コロナ禍では、ケアプラザの貸室や地域の活動が中止する事もありましたが、現在のケアプラザはそれぞれの地域が目指す姿の実現のために寄り添い、何をすべきか、どのような方法で行うのか、優先順位はどうかなどを住民の皆様と一緒に考え事業運営をしていきます。地域における各種会議（地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会等）や地域行事（今宿音楽祭、今宿ふれあい演芸会、二俣川ニュータウン福祉祭等）等に参加し、常に地域の皆様や団体との顔の見える関係づくりを積極的に進めていきます。
- ・地域やケアプラザを拠点として活動しているボランティア団体や活動団体は高齢化してきており、その団体が活動を継続できるように持続可能となる支援や新たな参加者の発掘へと繋がる自主事業を実施することを心がけていきます。
- ・認知症の正しい理解促進のため、認知症サポーター養成講座や講演会等の開催による普及啓発に努め、認知症になっても、当事者や家族が安心して生活を送れるよう、地域や関係機関とのネットワーク構築を図ります。
- ・高齢者のみならず、障害関係および子ども・子育てに関する幅広い相談にも対応しており、専門機関に的確につなぐ中継点の役割をケアプラザは担っていきます。
- ・公共施設の職員として法令遵守に努め、業務に関わる最新の正確な情報を職員間で共有します。また常勤、非常勤を問わず、資質向上を図るため外部研修等に積極的に参加するとともに、外部研修で得た内容を職員間で共有し、業務に反映するように努めます。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■		障害のある方を講師に招いて行う教室の開催や、子育て世代向け事業を定期的に開催する。合わせてケアプラザの機能について周知する。
	■	地域の要望から開始した「歌って元気」を継続させるため多様化してきた参加者のニーズに合わせ、講師と振り返りの機会を持ち内容を検討する。
■		エンジョイ今宿の開催日に合わせて子育て世代向けの事業を企画しエンジョイ今宿での多世代交流を図る。
■		地域住民に向けて「認知症」を学ぶ勉強会の機会を提供、合わせて認知症の方と家族を支える様々な支援を紹介し、座談会を設けて様々な意見交換の機会を作る。
	■	すぐに支援に繋げるのが難しいケースに向けて、区役所や民生委員、地域の方々と、課題解決に向けた目標や目標達成時期、具体的な取り組み方法を検討し実践する。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

支援級に通うお子さんの保護者を対象とした講座を当事者とその家族、支援機関の方を講師に招いた講座を開催しました。その後、参加された保護者を中心に定期的に交流や情報交換を行う会が始まっています。5月から、乳幼児と保護者を対象とした月1回のヨガ教室『エンジョイ親子ヨガ』が始まりました。

自主事業の「歌って元気」では、元気な参加者には会場づくりに協力をしてもらい、ボランティアとして活躍できる社会参加の場としました。

5月から、乳幼児と保護者を対象とした月1回のヨガ教室『エンジョイ親子ヨガ』を開催しています。ママとお子さんが一緒にヨガを楽しんだり、ヨガの後にコーヒー等を飲みながらママ同士の交流や情報交換等が行える場が開かれています。エンジョイ今宿を会場としたことで、エンジョイ今宿の参加者が子供たちの様子を見に来てくれたりママたちと会話を楽しんだりしていて多世代交流にも繋がっています。

地域住民に向けて「認知症について学ぼう」講座を開催しました。認知症についての正しい理解と対応を説明、認知症に対する誤解や偏見を失くせるよう努めました。また、協力医を囲んで「認知症について」のミニ講座と座談会を開催したところ、認知症当事者や家族の参加があり様々な立場からの意見交換ができました。

認知症の独り暮らし高齢者を支えるネットワークの構築に向けて、医療や介護の関係者や民生委員、地域のボランティア団体等と多職種連携を図る事で、各関係者の役割や取り組みを明確にできました。

□ 区からのコメント

- ・認知症の方を支えるネットワークについて地域の方と多職種の役割を明確にでき、受け止める体制づくりが一歩進んだと思います。今後はチームオレンジなどの取組から認知症当事者のニーズを支援者にわかりやすく伝えて、豊かなネットワーク作りが発展することを期待しています。
- ・施設内外からニーズを拾って事業化されています。学齢期の子どもに関わる取組は学校とも連携しながら継続することを期待します。
- ・地域の中で、見守り等の移動販売の目的を周知し、移動販売の必要性を理解してもらうなど、活動を安定・継続させるための取り組みが行われています。今後も関係機関と連携し、地域課題解決のための取組継続をお願いします。
- ・引き続き安定的な施設運営を行うため、職員を人的資本と捉え、所長のリーダーシップのもと、相談体制の整備や人材育成の取組を進め、職員一人ひとりが働きやすい職場環境の更なる改善に努めてください。

令和6年度横浜市今宿地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	公共施設を管理・運営する職員として自覚を持ち、法令厳守に努め公正・中立性の確保に努めます。そのために職員の行動基準を再確認するなど、常勤職員・非常勤職員にかかわらずOJTを基本に資質の向上に努めるとともに倫理研修をはじめ内部研修や外部研修にも積極的に取り組みます。	他施設の事故事例や日々のヒヤリハットを活用すると共に研修会を開催し、事故防止に努めます。また、令和5年4月の法制度の改正内容を再確認し、個人情報保護の徹底に努めます。更に、事故が発生した場合の連絡・報告方法についても周知・徹底を図ります。
実績	横浜市の公設施設の管理・運営を担う職員としての自覚を持ち、地域の皆様、地域団体、事業者等に対し、法令を遵守し、公正・中立な立場で業務にあたりました。 今宿地域ケアプラザ職員行動基準(「特定の人や団体のためでなく誰に対しても公平な姿勢で対応します。」)を再確認するとともに、倫理研修の実施や外部研修へも積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。	事故防止については、他施設の事故事例を題材に、事故の発生防止や発生時の対応等について研修会を実施しました。個人情報保護についても、過去の漏洩事例を題材に作業マニュアルの再確認するなど、個人情報保護の徹底を図りました。なお、ヒヤリハットなどの情報共有は、年間を通して、非常勤職員を含めすべての職員に、その都度実施しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が自ら設定した目標に向かって積極的に取り組んでいけるように、地域資源を活かした、実現可能なその人らしい予防サービス計画を作成していきます。	利用者本人が住み慣れた地域で、出来る限り自立したその人らしい生活が送れるように関係機関と連携し地域の社会資源を生かした居宅介護計画の作成をしていきます。
利用 料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 なし	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 通常の事業実施地域を超えて行う指定居宅介護支援時に要した交通費は実費を徴収します。
職員 体制	・管理者常勤1名 ・介護支援専門員:専任非常勤1名、兼任非常勤1名	・管理者兼介護支援専門員:常勤1名 ・介護支援専門員:常勤1名 ・介護支援専門員:兼任非常勤1名
契約 者数	374名	要介護1(36名) 要介護2(32名) 要介護3(7名) 要介護4(9名) 要介護5(3名) 合計(87名)

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	安心安全を第一に、利用者様本人の意思やその人らしさを尊重したきめ細やかなサービス提供を目指していきます。他者との交流、社会生活への参加、閉じこもりの解消、介護者の負担軽減、身体機能の維持及び改善を目標にサービスを提供していきます。		
実施体制	【実施日数】 307日 【提供時間】 5時間5分 【定員】 45名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
職員体制	【その他料金】 昼食代: 880円 リハビリパンツ: 150円 尿取りパッド: 50円	【その他料金】	【その他料金】
契約者数等	【延べ利用者数】 10,222名 【契約者数】 114名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「横浜市今宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<地域活動交流>

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,679,313	738,963	17,418,276	16,543,426	874,850	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	140,800	△ 140,800	自主事業参加費、法人本部経費は含まれない
雑入	0	0	0	30,912	△ 30,912	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	30,912	△ 30,912	自動販売機売上、法人本部経費は含まれない
その他			0	0	0	
その他	3,990,000		3,990,000		3,990,000	
収入合計	20,669,313	738,963	21,408,276	16,715,138	4,693,138	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,699,313	0	13,699,313	12,049,649	1,649,664	法人本部経費は含まれない
本俸	9,600,000		9,600,000	10,820,552	△ 1,220,552	コードネイター・サブコードネイター・所長・事務職
社会保険料	1,029,381		1,029,381	982,182	47,199	コードネイター・サブコードネイター・所長・事務職
手当料	2,889,932		2,889,932	91,190	2,798,742	コードネイター・サブコードネイター・所長・事務職
健康診断費	60,000		60,000	52,410	7,590	コードネイター・サブコードネイター・所長・事務職
勤労者福祉共済掛金	120,000		120,000	103,315	16,685	コードネイター・所長・事務職員
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他			0	0	0	
事務費	640,000	0	640,000	769,245	△ 129,245	法人本部経費は含まれない
旅費	30,000		30,000	26,200	3,800	会議・研修等参加
消耗品費	189,440		189,440	266,247	△ 76,807	文具・衛生用品・電気製品
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	130,000		130,000	103,283	26,717	コピー用紙・印刷機消耗品按分使用料・封筒印刷按分
通信費	80,000		80,000	59,706	20,294	ADSL・電話・郵便按分
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	目的外使用料（自動販売機設置）
その他			0	0	0	
備品購入費	40,000		40,000	0	40,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	20,000		20,000	28,962	△ 8,962	銀行等振込手数料
リース料			0	0	0	
手数料			0	250	△ 250	目盛りはかり検査料
地域協力費			0	0	0	
その他	140,000		140,000	274,037	△ 134,037	保健衛生費・車両燃料費・車両保険費等按分
事業費	1,390,000	0	1,390,000	232,527	1,157,473	法人本部経費は含まれない
運営協議会会費			0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,390,000		1,390,000	232,527	1,157,473	講師謝金・材料費等
その他			0		0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検			0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）			0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0	0	0	
管理費	4,466,000	0	4,466,000	5,263,024	△ 797,024	法人本部経費は含まれない
光热水費	4,166,000		4,166,000	3,305,515	860,485	全体額を合算施設との按分に基づき按分
清掃費			0	1,012,546	△ 1,012,546	
機械警備費			0	36,213	△ 36,213	
設備保全費	0	0	0	680,902	△ 680,902	全体額を合算施設との按分に基づき按分
空調衛生設備保守			0	211,997	△ 211,997	
消防設備保守			0	18,600	△ 18,600	
電気設備保守			0	97,250	△ 97,250	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	353,055	△ 353,055	
共益費			0	0	0	
その他	300,000		300,000	227,848	72,152	
修繕費	474,000		474,000	824,713	△ 350,713	法人本部経費は含まれない
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	20,669,313	0	20,669,313	19,139,158	1,530,155	
差引	0	738,963	738,963	△ 2,424,020	3,162,983	

自主事業費 収入	0	0	0	140,800	△ 140,800
自主事業費 支出	1,390,000	0	1,390,000	232,527	1,157,473
自主事業 収支	△ 1,390,000	0	△ 1,390,000	△ 91,727	△ 1,298,273

管理許可・目的外使用料にかかる収入	0	0	0	30,912	△ 30,912
管理許可・目的外使用料にかかる支出	10,560	0	10,560	10,560	0
管理許可・目的外使用料にかかる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	20,352	△ 30,912

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「横浜市今宿地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部						(単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,518,861	0	30,518,861	30,307,039	211,822	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,948,968	5,948,968	11,897,936	5,948,968	5,948,968	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	52,750	△ 52,750	自主事業参加費、法人本部経費は含まれない
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	31,100	△ 31,100	自主事業参加費、法人本部経費は含まれない
雑入	0	0	0	30,907	△ 30,907	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	30,907	△ 30,907	自動販売機売上、法人本部経費は含まれない
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	36,621,829	5,948,968	42,570,797	36,524,764	6,046,033	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,527,829	0	32,527,829	30,681,042	1,846,787	法人本部経費は含まれない
本俸	24,000,000		24,000,000	23,131,585	868,415	包括3職種・コーディネーター・所長・事務職員・非常勤職員
社会保険料	3,800,000		3,800,000	3,363,892	436,108	包括3職種・コーディネーター・所長・事務職員・非常勤職員
手当計	4,422,521		4,422,521	34,824	4,387,697	包括3職種・コーディネーター・所長・事務職員・非常勤職員
健康診断費	30,000		30,000	17,308	12,692	包括3職種・コーディネーター・所長・事務職員・非常勤職員
労働者福祉共済掛金	275,308		275,308	86,985	188,323	包括3職種・コーディネーター・所長・事務職員
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他			0	4,046,448	△ 4,046,448	
事務費	650,000	0	650,000	1,108,571	△ 458,571	法人本部経費は含まれない
旅費	10,000		10,000	22,060	△ 12,060	会議・研修等参加
消耗品費	210,000		210,000	277,399	△ 67,399	文具・衛生用品・電気製品
会議賃い費			0	0	0	
印刷製本費	80,000		80,000	242,379	△ 162,379	コピー用紙・印刷機消耗品按分使用料・封筒印刷按分
通信費	45,000		45,000	314,731	△ 269,731	ADSL・電話・郵便按分
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	目的外使用料（自動販売機設置）
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	0	0	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	30,000		30,000	19,906	10,094	銀行等振込手数料
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	264,440		264,440	221,536	42,904	保健衛生費・車両燃料費・車両保険費等按分
事業費	2,022,000	0	2,022,000	1,060,473	961,527	法人本部経費は含まれない
協力金	630,000		630,000	504,000	126,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	926,000		926,000	218,992	707,008	講師謝金・材料費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	150,690	3,310	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	186,791	△ 186,791	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	312,000		312,000	0	312,000	
その他			0	0	0	
管理費	1,296,000	0	1,296,000	1,399,023	△ 103,023	法人本部経費は含まれない
光熱水費	1,042,000		1,042,000	878,681	163,319	全体額を合築施設との按分に基づき按分
清掃費			0	269,157	△ 269,157	
機械警備費			0	9,625	△ 9,625	
設備保全費	254,000	0	254,000	206,844	47,156	全体額を合築施設との按分に基づき按分
空調衛生設備保守	254,000		254,000	56,352	197,648	
消防設備保守			0	4,944	△ 4,944	
電気設備保守			0	51,700	△ 51,700	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	93,848	△ 93,848	
共益費			0	0	0	
その他			0	34,716	△ 34,716	
修繕費	126,000		126,000	40,178	85,822	予算指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	36,621,829	0	36,621,829	34,289,287	2,332,542	
差引	0	5,948,968	5,948,968	2,235,477	3,713,491	

自主事業費 収入	0	0	0	83,850	△ 83,850
自主事業費 支出	1,392,000	0	1,392,000	556,473	835,527
自主事業 収支	△ 1,392,000	0	△ 1,392,000	△ 472,623	△ 919,377

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	30,907	△ 30,907	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	20,347	△ 30,907	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市今宿地域ケアプラ

(単位:千円)

科 目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
				22,000	23,129	-1,129	13,700	14,477	-777	86,700	92,730	-6,030			0	
収入	介護保険収入	0	0	0	0	0	0	0	0	820	911	-91	0	0	0	
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	820	911	-91	0	0	0	
	収入合計(A)	0	0	0	22,000	23,129	-1,129	13,700	14,477	-777	87,520	93,641	-6,121	0	0	0
	人件費			0	4,250	4,418	-168	11,650	12,090	-440	47,100	47,158	-58			0
	事務費			0	12,260	14,790	-2,530	2,070	1,102	968	16,790	18,636	-1,846			0
	事業費			0	140	107	33	180	110	70	15,600	16,738	-1,138			0
支出	管理費			0			0		0				0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1,020		85	0	0	0	
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20				0	
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	935	65			0	
	支出合計(B)	0	0	0	16,650	19,315	-2,665	13,900	13,302	598	80,510	82,532	-2,957	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	5,350	3,814	1,536	-200	1,175	-1,375	7,010	11,109	-3,164	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者									
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）	6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）	1 : 優先的に取り組みが求められる事業	2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児	4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者	7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	エンジョイ今宿	令和3年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地区センターとの共同事業として、地域住民の集いの場となり閉じこもりの予防や仲間づくり、活動の場、介護予防に繋がる取組を図る。	5:地域		地区センターの体育室を使用し、コーヒー・ボランティアによるコーヒーの提供、健康フェア等を実施。第3火曜日（年間11回（休館日の9月以外開催）。	11	401
2	歌って元気!!	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	楽しく歌ってストレスの発散、脳の活性化、誤嚥対策、口腔環境の良化で介護予防に役立てる。	1:高齢者		地域在住の声楽家による指導で、季節の歌や懐かしのメロディーを歌う。第3月曜日。	12	462
3	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	担い手の発掘・育成、ボランティア活動のきっかけづくり。さらにケアプラザでの活動を遡し地域への関心を高め、新しい人が関われる活動の場を提供する。	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイント事務局作成のテキストに沿った研修会。事業の概要、ボランティア活動の基礎知識について。6/28(金)。	1	14
4	R6大人の寺子屋1:今宿CP	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをし、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・口腔衛生・栄養講座。10/1(火)、2/4(火)。	2	16
5	R6大人の寺子屋2:今宿CP	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをし、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・認知症予防講座等 第1火曜日（年間8回（6～1月）開催）。	8	121
6	R6大人の寺子屋1:東希小コミュニティハウス分校	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。CPまで来所が難しい希望が丘東地区の方が身近な東希小コミュニティハウスで、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・口腔衛生・栄養講座。2/21(金)、3/21(金)。	2	12
7	R6大人の寺子屋2:東希小コミュニティハウス分校	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。CPまで来所が難しい希望が丘東地区の方が身近な東希小コミュニティハウスで、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・認知症予防講座等 第3金曜日（年間8回（6～1月）開催）	8	47
8	R6大人の寺子屋1:二俣川ニュータウン分校	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。CPまで来所が難しい二俣川ニュータウン地区の方が身近な二俣川ニュータウン連合町内会館で、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・口腔衛生・栄養講座。1/10(金)、2/14(金)。	2	27
9	R6大人の寺子屋2:二俣川ニュータウン分校	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。CPまで来所が難しい二俣川ニュータウン地区の方が身近な二俣川ニュータウン連合町内会館で、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・認知症予防講座等 第2金曜日（年間8回（6～1月）開催）	8	54
10	R6大人の寺子屋1:清水ヶ丘分校	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。CPまで来所が難しい清水ヶ丘地区の方が身近な清水ヶ丘町内会館で、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・口腔衛生・栄養講座。1/23(木)、2/27(木)。	2	23
11	R6大人の寺子屋2:清水ヶ丘分校	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをする。CPまで来所が難しい清水ヶ丘地区の方が身近な清水ヶ丘町内会館で、継続して、介護予防活動を行う。	1:高齢者		体操・認知症予防講座等 第4木曜日（年間8回（6～1月）開催）	8	70
12	包括的・継続的ケアマネジメント「医療機関との連携」	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	老化に伴う様々な病気の特性を医師から学ぶ。介護に役立つ技術、知識を学ぶ。	1:高齢者		高齢者に多い疾患をテーマに取り上げて勉強会を開催。4/23(火)、6/25(火)、9/27(金)、10/25(金)、2/26(水)。	5	63
13	協力医による少人数制勉強会	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャー対象の勉強会、老化に伴う様々な疾病から生じる生活障害に対応する為、病気の特性やケアマネジャーとしての必要な視点を学ぶ。	6:事業者		つくしクリニック安部医師よりテーマを設けて開催。8/20(火)、9/24(火)、10/22(火)、11/19(火)。	4	27
14	暮らしの医療相談	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民、ケアマネジャー、職員誰でも医療、健康相談が協力医から個別で受けられる。	5:地域		協力医による医療、健康の個別相談。毎月2回火曜日（協力医の都合による）。	19	24

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催 (1と2)	5 : 共催 (1と3)		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催 (2と3)	7 : 共催 (1と2と3)					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	エンディングノート活用講座	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの役割の理解を深めると共に、各種制度や相談機関等について普及啓発を図り、自己決定権や権利行使の支援に繋げる。	1:高齢者	1	エンディングノートを書く前準備として終活・相続・成年後見を落語で楽しく学ぶ。11/26(火)。	1	47
16	成年後見制度・相続・遺言の出張相談会	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	権利擁護事業の一環として、成年後見制度等の各種制度の普及啓発や地域住民の相談の掘り起こしを図る。	5:地域		成年後見制度・相続・遺言、その他法律問題について、司法書士による個別相談会を実施。偶数月の第2土曜日。	6	30
17	認知症サポーター養成講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症についての正しい知識や理解を深め、地域で認知症の見守りや支援に向けた取組に繋げる。	5:地域		キャラバンメントと協力しながらサポーター養成講座のテキストを使用した講座を開催。また、認知症に関する情報提供を行う。11/5(火)。	1	28
18	世界アルツハイマー月間認知症講座	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	世界アルツハイマーの月間に合わせ、認知症の正しい理解に向けた普及啓発活動。	5:地域		認知症についての正しい知識や理解に向け、講師による講座の開催。9/10(火)。	1	28
19	個別支援級に通う児童の保護者向け交流会	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の個別支援級に通う児童の保護者に、保護者同士の繋がりや有益な情報の提供を行える場を提供する。	5:地域		近隣の小学校等に声をかけ保護者同士で集える場を提供する。7/9(火)、9/17(火)、10/12(土)、11/19(火)、12/14(土)、1/21(火)、2/15(土)、3/18(火)。	8	55
20	落語(今宿にぎわい笑)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍を経てケアプラザに来所することが遠のいている地域住民に向け、来館へのキッカケづくりと外出機会の確保、ケアプラザでのその他活動への周知・参加等に繋げる。	5:地域	1	アマチュア落語家による、落語やマジックショーの開催。6/1(土)、9/7(土)、1/12(日)。	3	168
21	今宿サマーフェスタ	平成14年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民に地域ケアプラザの周知を図ると共に、地区センターと複合館である強みを生かし、地域の住民との交流を図る。	5:地域		地区センターと共催で実施、地域の交流を深める施設のお祭りを開催。9/7(土)・8(日)。	1	1200
22	一人暮らし高齢者のお楽しみ会	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	外出機会の少ない一人暮らし高齢者に交流や外出の場を提供すると共に、ジュニアボランティアとの多世代交流の場とする。	1:高齢者		第1部では参加者全員での歌唱とジュニアボランティアによる校歌の披露を行い、第2部ではbingoゲームを行う。10/19(土)。	1	37
23	おから味噌づくり講習会	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	廃棄されることの多いおからを食材に使用し手作り味噌を作ることで、SDGsの理解と日本の食文化を継承する機会とする。	5:地域		第1回はおからを使った味噌づくりを体験。第2回は出来上がった味噌を使って料理教室の開催。4/6(土)、10/4(土)。	2	27
24	エンジョイ・親子ヨガ	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子で一緒に行うヨガを通して、親子の絆や愛情を深め合う。また、親同士の交流や情報交換、仲間づくりの場とする。	3:養育者及び乳幼児		エンジョイ今宿の開催日に合わせ実施。0~3歳までの親子で60分程度のヨガを楽しみ、その後はエンジョイ今宿で交流の機会を30分程度もつ。第1期6/18(火)、7/16(火)、8/20(火)、9/17(火)。第2期11/19(火)、12/17(火)、1/21(火)、2/18(火)、3/11(火)。	9	83
25	ふれあいハロウィーン	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣保育園との交流を目的に、高齢者と幼児が交流できる機会を通して世代間交流を図る。	5:地域	1.3.4	保育園による太鼓の披露と、高齢者による昔遊びの披露や実践。ハロウィーンのお菓子を配る。10/31(木)。	1	20
26	登録団体発表会	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体の活動や練習等の成果を発表の場を設け、地域住民等多くの方に各団体の活動に興味を持ってもらうことで、団体としてのモチベーションアップや、参加者の増加に繋げる。	5:地域		運動や音楽等の登録団体は観客の前で発表会形式で行い。文化系の団体は展示会形式で実施。12/6(金)・7(土)。	2	160
27	スマホサロン	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	スマホの操作に不慣れな高齢者が安心してコミュニケーションや情報収集等を行えるようになる。また、参加者同士の交流や見守り等に繋げる。	1:高齢者		スマホ操作の困りごとにボランティアが相談にのる。ほぼ毎週土曜日。	37	216
28	みんなで歌おう	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	年代に関係なく誰もが参加でき、歌を通じて多世代交流を図る。	5:地域	1.3	サマーフェスタにおいて、ピアノの伴奏に合わせて歌を歌ったり歌に合わせて体を動かしたりする。9/7(土)。	1	700
29	サマーフェスタ健康フェア	平成14年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民の健康チェックをし、自分の健康に关心を持っていただく。	5:地域	1.5	サマーフェスタで健康チェック(体組成・握力・2ステップテスト)健康相談を実施。9/8(日)。	1	81

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催 (1と2)	5 : 共催 (1と3)		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催 (2と3)	7 : 共催 (1と2と3)					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	生前整理講座『物と心の整理講座』	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ゴミ屋敷や高齢者のゴミ問題を学び、本当に必要な物は何かを考え取捨選択することにより自己決定権の行使・生前整理の考え方を学ぶ。	1:高齢者		物が捨てられない心の在り方、終活に向けた物の取捨選択方法、ゴミ屋敷にならない為の整理術を学ぶ。1/7(火)。	1	44
31	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザについてブース来場者に知っていただくための機会とする。	5:地域		・パネル展示 ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配布 ・ミニゲーム企画 ・啓発グッズ配布 ・10/20(日)開催	1	700
32	登録団体交流会	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	登録団体の横の繋がりをもっていただく。貸館ルールを再確認。利用者さまからの意見を聞く。	5:地域		各団体から活動報告。ケアプラザの貸館ルールの説明。利用者様からの質疑応答。1/13(月)。	1	57
33	美味しいサイフォンコーヒーの淹れ方講座	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	サイフォン式とドリップ式で淹れた際の味の違いなどを学びながら、参加者同士の交流や趣味の発展に繋げる。また、今後コーヒー ボランティア『ベリゴール』の活動を通して地域活動に興味を持ってもらい、一緒に活動してくれるボランティア等を発掘する。	5:地域		コーヒー豆や淹れ方の違い、サイフォンコーヒーの淹れ方について実践的に学ぶ。1/19(日)、2/2(日)。	2	41
34	グループリーダー研修会	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	グループリーダーが介護予防や仲間で行う活動の大切さ、痛みを持っている方への運動療法を学び活動継続のモチベーションを上げる。	1:高齢者		理学療法士による講演会。2/25(火)。	1	5